

日本ペスタロッチャー・フレーベル学会

課題研究 関東地区委員会

「子育て支援に関してペスタロッチャー・フレーベル等の研究から何が言えるか」(仮題)
(これは、「課題研究」の全般的な内容と理解していただいて結構です)

2010/04/01

皆様には、ますますご健勝のことと存じます。

本課題研究委員会は2009年度の学会総会において、承認を得て発足しました。関東地区の第1回目の会合を去る2010年03月16日(火)に開き、参加者各位の研究関心から、このテーマに、いかにアプローチするか等について討議し、全体の課題研究の方向性などについて話し合いました。

その内容は、下記の如くですので、ここに、その概略を報告致します。

記

日時: 2010年03月16日(火) 14:00~16:00

場所: 中央大学理工学部 6号館 8階 6814号室(人文・社会 会議室)

1. 挨拶に代えて

2009年12月18日(金) 13:00~16:00に、日本学術会議が主催して、各政党の「子育て支援の政策」などが披露されるシンポジウムが、「子育て支援・少子化への政策対応に関するシンポジウム」と題して日本学術会議講堂において開催されたが、そのシンポジウムに参加した今回の世話人となる岸から、その趣旨並びに概略が報告された。

「未来の明るい社会建設」に向けて、現在の私たちが解かなくてはならない複雑化した社会の難しい教育問題の中で、その課題に対して、ペスタロッチャーやフレーベルなどの研究を通して、何が提言できるのだろうかということを根底におきながら、「子育て支援の問題」を考えることが、全体の共通の課題であろうこと、更に、それを参加者各自の専門に関連づけながら追求することが重要であろうことが述べられ、それに成功するならば、必ずや実り多き課題研究となると考えられるから、参加者各位の積極的な健闘を期待したいという主旨の挨拶がなされた。

2. 前課題研究の報告と今回の課題研究に対する展望

湯川委員から、前回の課題研究が成果に結びつくまでの苦労と一冊の本としての出版にこぎつけるまでの経緯の披歴があり、それを踏まえて、今回はどのような点に注意しながら研究を進展させていったらいいかという「研究の視点・展望」について話があった。また、科研費申請の条件や出来るだけ合理的に研究を進めるために留意しなくてはならない点などの指摘があった。

3. 各参加者の課題への関心、また、専門領域からのアプローチの視点

今回は、初めての会合であったので、ごく大まかに各委員の課題への関心聞き、さらに、どのように専門から課題へアプローチしていくのかを聞いた。その後、湯川委員、鳥光委員から、前課題に携わった立場からのアドバイスを得た。

それぞれの委員は、漠然とした広い関心から課題へのアプローチを考えていたようであるが、研究の進展とともに、焦点を絞っていく方向で問題を捉える姿勢を明確にしたようであった。

4. 次回の会

どのくらいの頻度で会を開くかということ話し合い、三か月に一回ぐらいとして、原則、土曜日の午後にし、一回の研究報告は、二名ぐらいが適当ではないかということになった。

今回は以下のように開催されるので、多くの会員の参加を希望する。

***日時： 2010年06月19日（土） 14:00～16:00**

***場所： 中央大学理工学部 6号館 8階 6814号室（人文・社会 会議室）**

地下鉄丸の内線（南北線）「後楽園駅」下車、徒歩3分。春日通に出て大塚方面に直進、前方左側に理工学部の校舎が見えて来る。（JR利用の場合は「水道橋駅」下車、ドームを回り込むように「後楽園」まで歩く。地下鉄大江戸線、都営地下鉄三田線でも可、その場合の駅名は「春日」。）

***研究経過報告：**

中島 朋紀（鎌倉女子大学短期大学部）・・・ 母親たちの悩みと親子関係

湯川 嘉津美（上智大学）・・・ 江戸時代における少子化と養育プラン

（文責 岸）

ペスタロッチャー・フレーベル学会課題研究委員会

関東地区 委員一覧表（2010/03/17 現在）

「各委員の研究課題については、テーマが確定していないので、現段階では敢えて表記しないことにして、氏名だけを記すことにする」（アイウエオ順）

小田倉 泉（埼玉大学教育学部）

岸 信行（中央大学理工学部）

佐久間 裕之（玉川大学教育学部）

豊泉 清浩（群馬大学）

鳥光 美緒子（中央大学文学部）

中島 朋紀（鎌倉女子大学短期大学部）

湯川 嘉津美（上智大学）

課題研究に参加を希望される会員は、常時大歓迎ですので、連絡をお待ち致します。

連絡先⇒学会事務局

但し、

直接下記にメールをいただいても、受け付けます。

〒145-0072 東京都大田区田園調布本町 20-14（自宅）

岸 信行

E-MAIL nikishi@hotmail.co.jp

（メールにて連絡して頂くのが一番合理的だと思います）

以上